

仕様定格

		主装置		個別用測定機器	単相用測定機器				三相用測定機器	
		収集ゲートウェイ	タップセンサ	回路別通信ユニット	回路別主幹センサ			回路別系統別センサ	三相通信ユニット	三相電力センサ
					φ10/80A×2	φ16/120A×2	φ24/200A×2			
型番		MC10008	MC10004	MC10003	MC10001S01	MC10001S02	MC10001S03	MC10002	MC10006	MC10007
通信方式		・Ethernet 100BASE-TX (RJ-45 コネクタ) ・2.4GHz帯無線通信 (IEEE802.15.4物理層を利用した独自通信)	・Hybrid通信 (1) PLC(電力線通信) (2) 2.4GHz帯無線通信 (IEEE802.15.4物理層を利用した独自通信)		・当社独自有線通信				・2.4GHz帯無線通信 (IEEE802.15.4物理層を利用した独自通信)	・当社独自有線通信
通信距離※	PLC (電力線通信)	—	約100m		—					
	2.4GHz帯無線通信	約60m(見通し距離)		—				約60m(見通し距離)	—	
	当社独自有線通信	—		・最大トータルハース長:250cm ・ハースは10/30/60/100cmを用意				—	・最大トータルハース長:1000cm ・ハースは20/50/100cmを用意	
	Ethernet	約100m	—							
電力測定	相線式	—	単相2線式	単相3線式			単相2線式	三相3線式		
	測定可能電圧範囲	—	AC90V～AC110V	—	AC180V～AC220V			・AC100Vモード時: AC90V～AC110V ・AC200Vモード時: AC180V～AC220V	—	AC180V～AC220V
	測定可能電力範囲	—	1W～1500W	—	100W～16000W	100W～24000W	100W～40000W	・AC100Vモード時: 10W～3000W ・AC200Vモード時: 20W～6000W	—	100W～80000W
	測定精度	—	±1%FS (フルスケール)	—	±1%FS(フルスケール)				—	±1%FS(フルスケール)
	測定可能線材	—		外皮径: φ10.0mm (max)	外皮径: φ16.0mm (max)	外皮径: φ24.0mm (max)	外皮径: φ5.6mm (max)	—	外皮径: φ24.0mm (max)	
電源入力	供給方式	付属のACアダプタ	コンセントプラグ	分電盤直結	回路別通信ユニットから供給			配電盤直結	三相通信ユニットから供給	
	定格電圧	単相2線(コンセント) AC100V		単相3線 AC200V	—			三相3線 AC200V	—	
	電圧許容範囲	定格電圧±10%			—			定格電圧±10%	—	
	周波数許容範囲	47Hz～63Hz			—			47Hz～63Hz	—	
消費電力		3.0W以下	1.4W以下	1.5W以下	0.1W以下			1.3W以下	0.3W以下	
動作時	温度条件	0℃～+40℃		-10℃～+50℃						
	湿度条件	20%RH～80%RH(結露なきこと)								
保存時	温度条件	-15℃～+60℃								
	湿度条件	10%RH～90%RH(結露なきこと)								
質量(本体)		約300g	約93g	約100g	約8g			約19g	約165g	約20g
寸法(本体)		(W) 約73mm (D) 約138mm (H) 約160mm	(W) 約70mm (D) 約70mm (H) 約30mm	(W) 約46mm (D) 約93mm (H) 約32mm	(W) 約26mm (D) 約12mm (H) 約31mm			(W) 約17mm (D) 約22mm (H) 約40mm	(W) 約59mm (D) 約130mm (H) 約41mm	(W) 約38mm (D) 約38mm (H) 約17mm
備考		データ閲覧やグラフ表示には「PC用アプリケーションソフト」が必要です。 簡易ソフトを同梱していますが、より詳細な分析をご要望の場合は販売店にお問い合わせください。								

※当社独自有線通信を除き、通信距離は使用環境により、大きく変動する場合があります。

	型番	ハース長
センサハース	MCH0312	10cm
	MCH0332	30cm
	MCH0362	60cm
	MCH0313	100cm

	型番	ハース長
三相センサハース	MCH0622	20cm
	MCH0652	50cm
	MCH0613	100cm

**安全に関するご注意**

○ご使用前に「製品説明書」や「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

○このカタログに記載の製品は、使用用途・場所などを限定するものがあります。

○電気工事士の資格をお持ちでない方は工事を行わないでください。工事に不備があると感電、火災の原因になります。

○設置にあたっては関連する法規に従って施工してください。

製造元
株式会社メガチップス
〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル
TEL.06-6399-2884(代) FAX.06-6399-2886
<http://www.megachips.co.jp/>
©MegaChips Corporation 2012
このカタログの記載内容は2012年8月現在のものです。仕様は予告なく変更される場合があります。
BSL-S-2011S010

販売店

エネルギーマネジメントをお考えの皆様へ

MegaChips

リアルタイム電力自動測定システム

小規模から柔軟に！
らくらく導入



「見える化」で始める
省エネ対策！



オフィスで



中小ビルで



店舗で

多拠点・多店舗展開にも柔軟に対応

施設内の節電や省エネが 今後は絶対に必要だけど…

どうしたら
消費電力を
減らせるの？

あまりコストは
かけられないし…

工事がいろいろと
大変そう…

賃貸なので
移転時には取外し
工事をしないと…

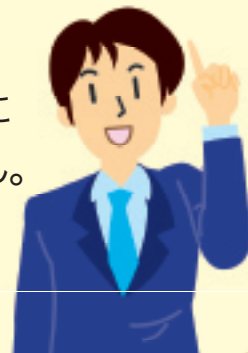
そんな悩みを解決します！

！消費電力の「見える化」で、ムダを発見！

機器単位からフロア別まで、幅広く電力測定ができるため、施設内の具体的な節電・省エネ対策をはかることができます。

！工事のコストや手間を低減！

無線と電力線の両方を使う新しい通信方式（ハイブリッド通信）により、面倒で費用のかかる複雑な通信配線工事が必要ありません。さらに、測定機器がコンパクトなため、取付工事はもちろん、取外し工事もカンタンです。



システムの特徴はコチラ→

POINT ①

電力のムダを見つけて節電・省エネ対策へ

実際の使用電力状況を リアルタイムに把握

節電や省エネをしたくても、施設全体の電力使用量からでは具体的な策を講じることができません。当システムは、「施設内のどの部分で、どのぐらいの電気が、いつ使われているか」を細かく可視化できるため、より効果的な節電・省エネ対策が可能になります。



照明、空調、コンセントの系統ごと
また機器単位でも測定可能

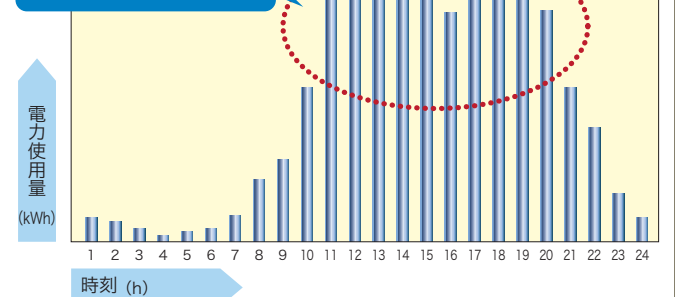


リアルタイム、時刻、日、月単位で
電力使用量を表示可能



目標値を設定し通知できる「お知らせ機能」を
使えば、電力使用量の抑制が可能
※対応するソフトウェアが必要

節電のポイントを
見える化



消費電力の総量削減に
効果的！
CO₂排出量の抑制にも！



POINT ②

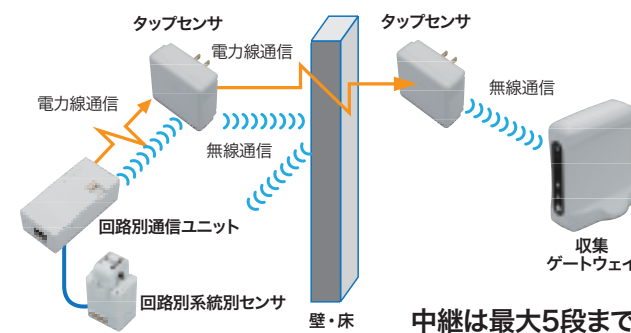
システムの設置工事もカンタン！だから低コストで導入可能

独自のハイブリッド通信 （無線＋電力線）で 通信配線工事が不要

従来のシステムでは、導入時の配線工事に多額のコストが必要でした。当システムは、無線と電力線（有線）の両方を使用する「新しい通信方式（ハイブリッド通信※）」を採用。新たな通信配線工事が不要となるため、低コストで導入できます。

※世界初の技術として特許出願中（2012年5月現在）

「無線＋電力線」で専用回線が不要に



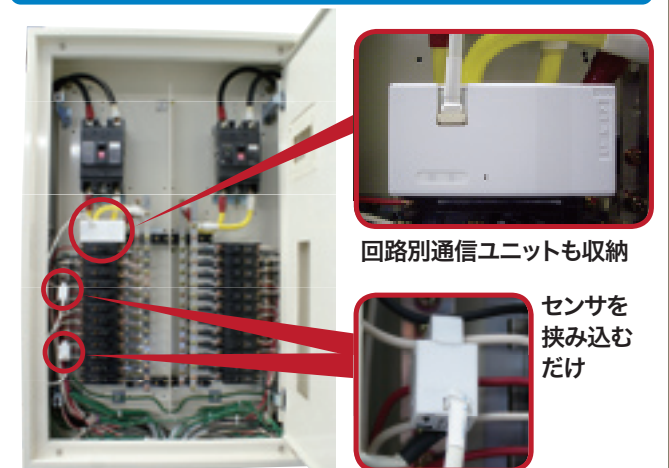
従来導入の難しかった
既築ビルにも、
低コストで導入可能！

拠点を移転する時にも 取外し工事がカンタン

センサや通信ユニットなど、各種測定機器の従来以上の小型化を実現。既設の分電盤内にスッキリと格納することができます。そのため、簡単な電源工事だけで取り付けることができます。また、拠点移転時の取外し作業も簡単ですので、安心して導入いただけます。

※分電盤の種類によっては、盤内に収納できない場合もございます。

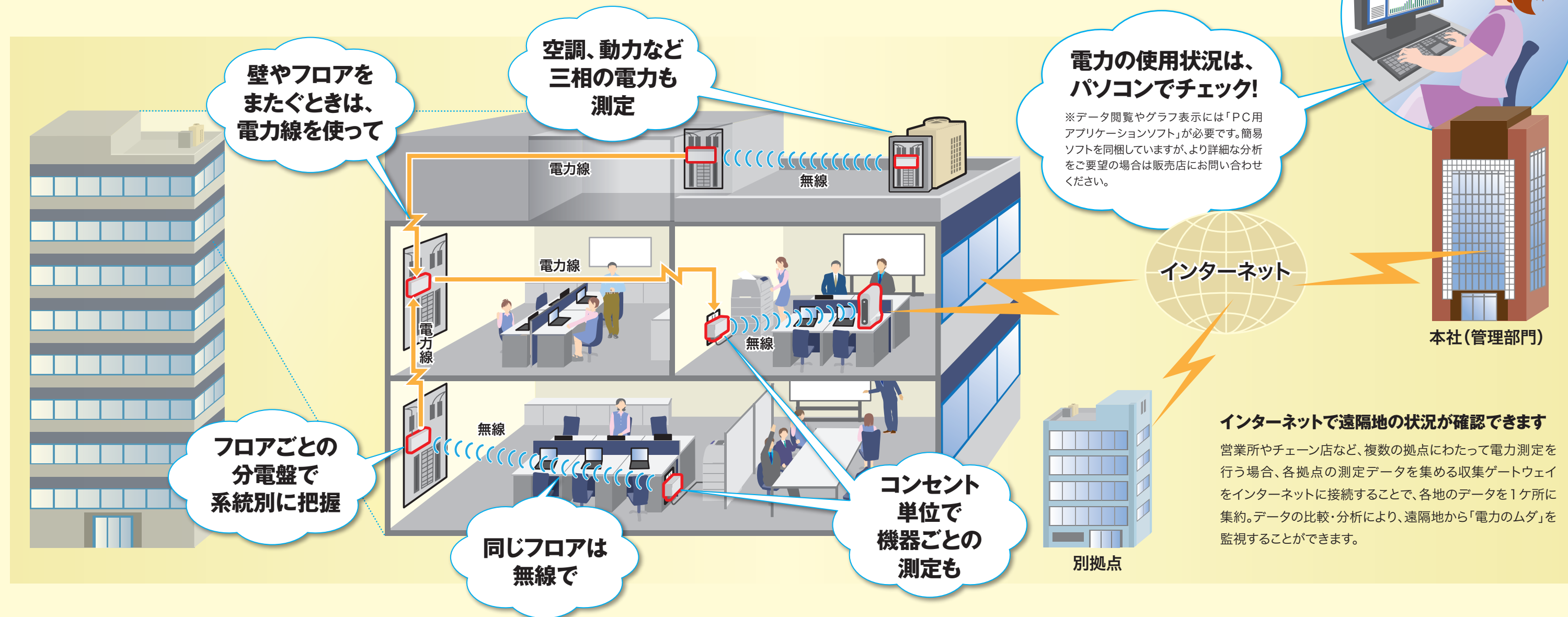
小型設計のため分電盤内に収納可能



従来は測定機器が大きいので、
システム用に専用の収納ボックスが
必要になることが多く、その分工事が大変！

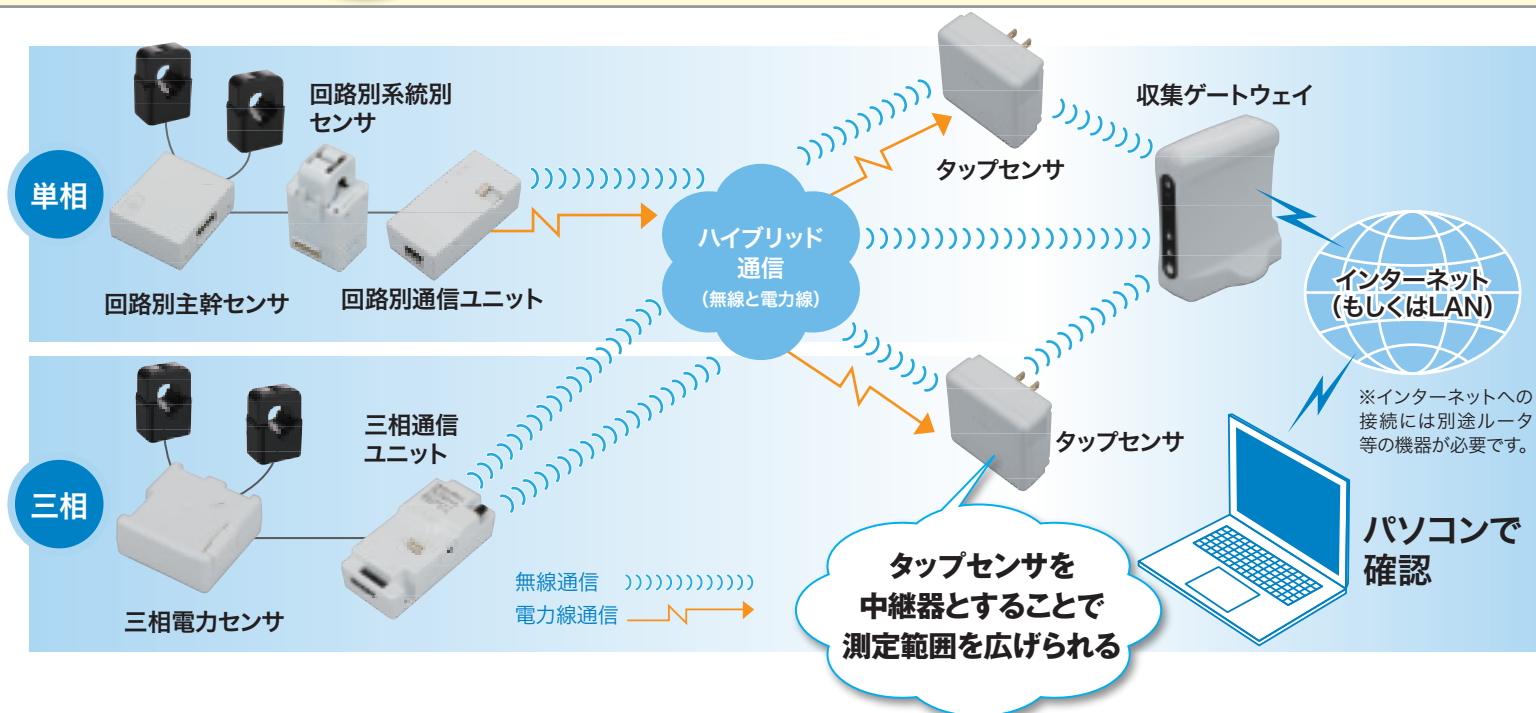
「低コストで」「細かく」「簡単に」リアルタイムに電力測定!

機器単位やフロア別、セクション別など、より細かな電力測定で、ムダの発見がカンタンになります

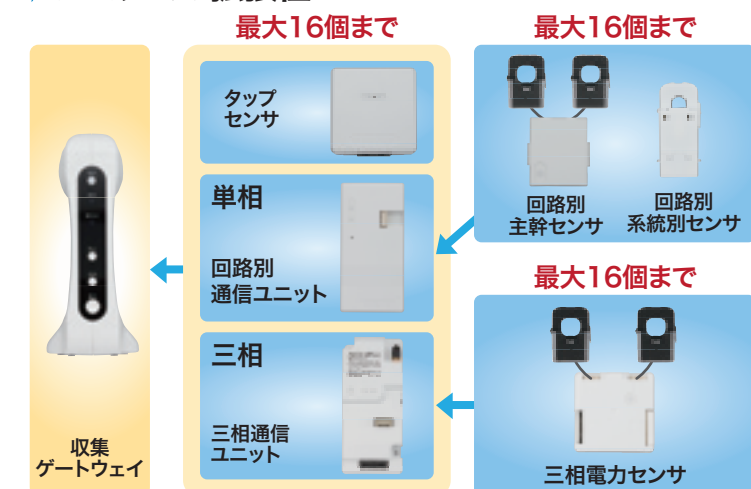


柔軟なシステム構成で、小規模から大規模まで幅広い測定ニーズに対応

施設の規模や用途に応じて、収集ゲートウェイ、通信ユニット、各種センサ、タップセンサなど測定機器の数を選んで、柔軟な組み合わせが可能。これにより、コピー機1台からフロア全体、さらには複数拠点まで、電力測定を行う範囲を柔軟に設定することができます。



システムの拡張性



収集ゲートウェイには、タップセンサと回路別通信ユニットおよび三相通信ユニットを合わせて最大16台まで登録可能。回路別通信ユニットには最大16個、三相通信ユニットには最大16個の電力測定センサが接続可能です。